

## 目 次

	ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	日震学の最近の話題から 関井 隆 92
EUREKA 〈研究紹介〉	分子雲コアの回転と星・惑星系形成： 星形成に特有なスケール 大橋 永芳 99
天球儀 〈読物〉	高強度レーザーが開く実験室天文学（2） — 輻射・非平衡原子過程を中心に — 高部 英明 108
シリーズ	《サイエンスだってやっています！ 公開天文台(3)》 兵庫県立西はりま天文台 小野 智子 116
書評	「アインシュタインの世界」 118
日本天文学会 1998 年春季年会プログラム	119
月報だより	139
星空市場	145

### 表紙説明

図（左）：SOI-MDIの観測による太陽振動の $l$ - $\nu$ 図。MDIのドップラー速度のデータ（60日間）から得られた速度場の振動のパワースペクトル（青→緑→黄→赤とパワーが増大する）。横軸は水平方向の波数に関する量子数 $l$ 、縦軸は振動数（ミリヘルツ）。左下から右上に走るリッジは、下から $n=0, 1, 2$ に対応する。

[図はSOHO / SOI-MDIプロジェクト（スタンフォード大学/ロッキード）提供。SOHOはESAとNASAの共同プロジェクトである]

図（右）：SOI-MDIデータのインバージョンによる太陽の内部回転。MDIのドップラー速度のデータ（144日間）のインバージョンから求められた自転角速度の分布。自転周期の逆数をナノヘルツで表したものを、太陽の断面（半球：中心からの距離/太陽半径）にわたる等高線図の形で示している（右側のスケール参照）。内側の点線はほぼ対流層の底にあたる。  
(SKYLIGHT 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)